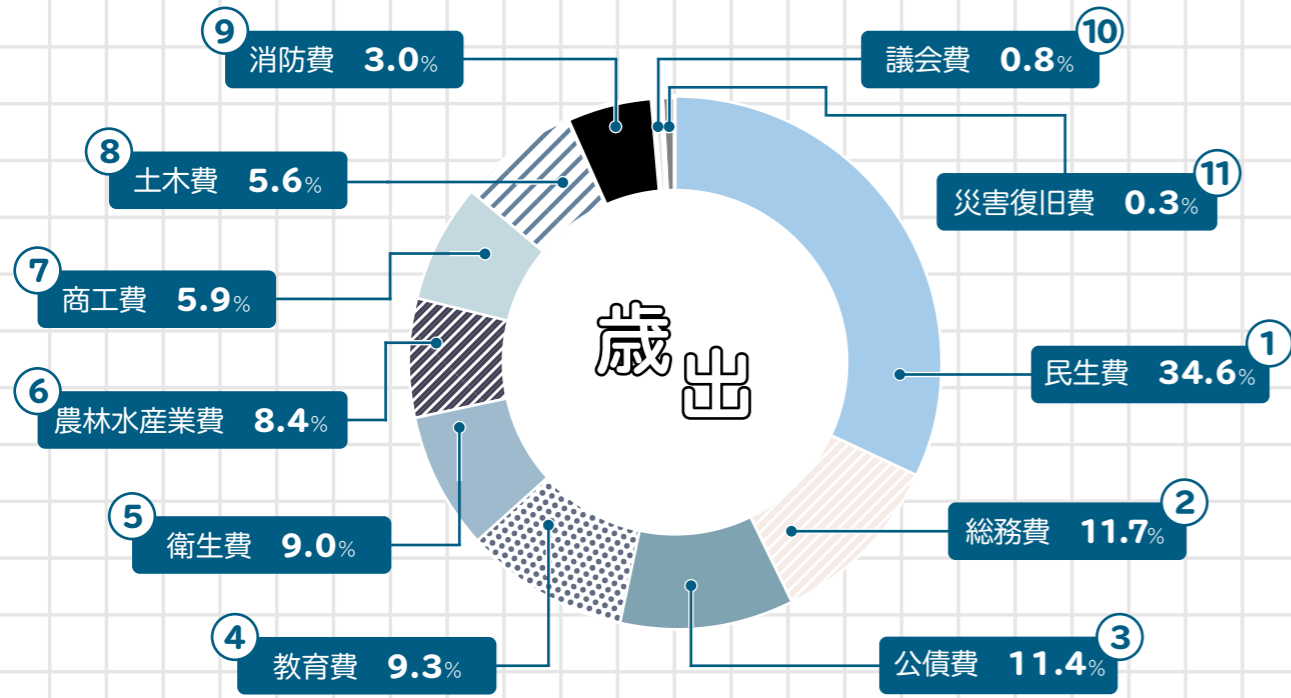


歳入歳出差引額 17億2,067万円

一般会計 歳出総額 181億1,547万円(対前年比 ▲3.5%)



1 民生費	62億6,947万円	(34.6%)	子育て、高齢者、生活保護などの福祉のために使われるお金
2 総務費	21億1,600万円	(11.7%)	財産管理や情報化、交通、防災、統計、選挙、などに使われるお金
3 公債費	20億6,485万円	(11.4%)	市の借金を返済するために使われるお金
4 教育費	16億8,488万円	(9.3%)	教育や文化・スポーツ振興のために使われるお金
5 衛生費	16億3,374万円	(9.0%)	ごみ処理や環境整備、健康づくりなどに使われるお金
6 農林水産業費	15億2,300万円	(8.4%)	農林畜産業の振興のために使われるお金
7 商工費	10億6,769万円	(5.9%)	商工、観光の振興のために使われるお金
8 土木費	10億782万円	(5.6%)	道路や橋、河川、公営住宅などの整備に使われるお金
9 消防費	5億4,400万円	(3.0%)	消防活動や防災対策のために使われるお金
10 議会費	1億4,962万円	(0.8%)	議会運営のためのお金
11 災害復旧費	5,440万円	(0.3%)	災害復旧のために使われるお金

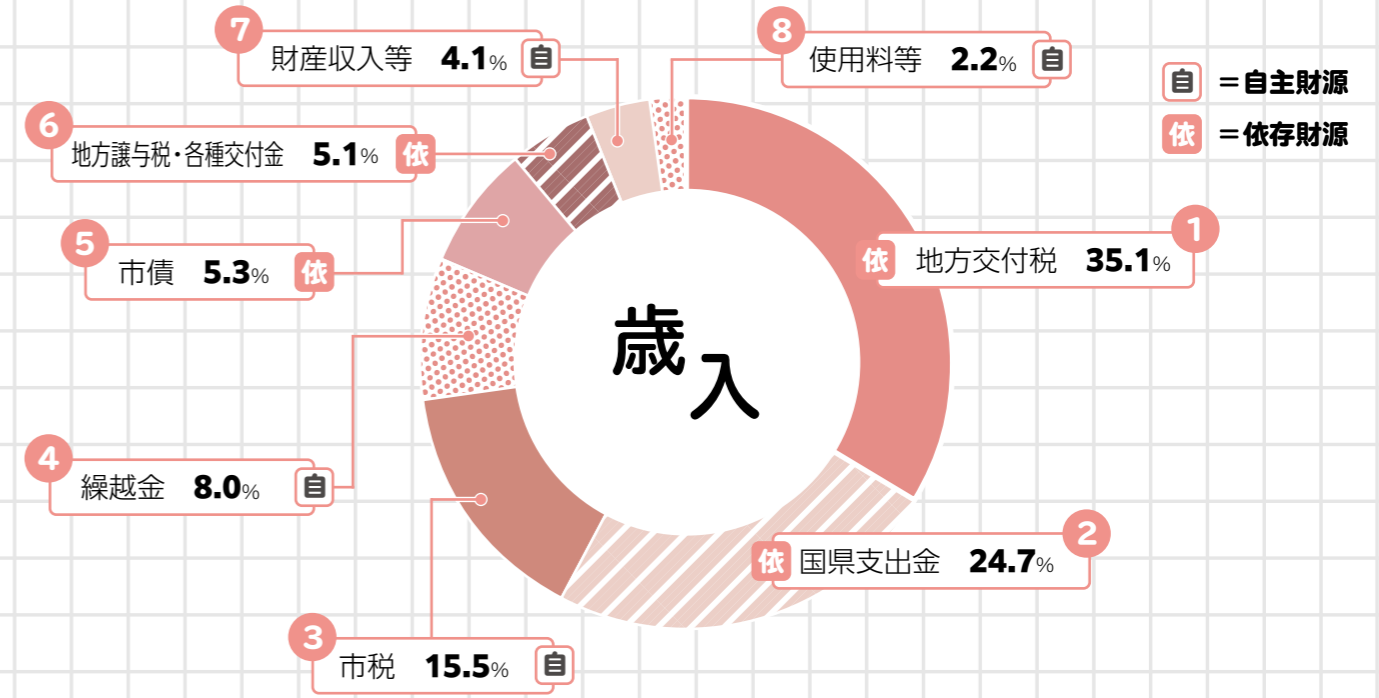
※表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の単純合計と総額や最終と歳出の差引などの数値は一致しないことがあります。

令和5年度決算

企画財政課 財政係
☎ 22-3204

令和5年度一般会計と特別会計・企業会計の決算状況について、皆さまから納めていただいたお金や国・県から交付されたお金がどのように使われたのかをお知らせします。

一般会計 歳入総額 198億3,613万円(対前年比 ▲2.6%)



依 1 地方交付税	69億5,682万円	(35.1%)	どの地域に住む住民にも一定水準の行政サービスを提供できるよう国から交付されるお金
依 2 国県支出金	48億9,779万円	(24.7%)	特定の事業を行うために国県から交付されるお金
自 3 市税	30億8,115万円	(15.5%)	市民の皆さまから納めていただいた税金
自 4 繰越金	15億9,663万円	(8.0%)	前年度から繰り越したお金
依 5 市債	10億5,300万円	(5.3%)	特定の事業を行うために市が借り入れたお金
依 6 地方譲与税・各種交付金	10億1,494万円	(5.1%)	国税や県税として徴収したものを、国や県が一定の基準により、市に対して譲与・交付するお金
自 7 財産収入等	8億924万円	(4.1%)	財産収入のほか、寄附金、繰入金、諸収入
自 8 使用料等	4億2,657万円	(2.2%)	使用料のほか手数料、分担金および負担金

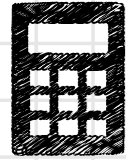
自主財源と
依存財源の割合

自主財源 市が独自に調達したお金 59億1,358万円

29.8%

70.2%

国や県などから市に入ってくるお金 139億2,255万円 依存財源



特別会計と企業会計

特別会計 市が特定の事業を行う時に経理を明確にするために一般会計と区別した会計です。

会計名	歳入額	歳出額	差引額
阿蘇山観光事業	1億4,112万円	1億3,932万円	181万円
下水道事業	5億235万円	4億6,671万円	3,564万円
国民健康保険事業	34億7,815万円	34億4,227万円	3,588万円
介護保険事業	37億8,685万円	34億851万円	3億7,834万円
後期高齢者医療事業	5億3,017万円	5億1,663万円	1,354万円
坂梨財産区	1,488万円	911万円	577万円
古城財産区	1,487万円	592万円	896万円
中通財産区	2,656万円	1,459万円	1,197万円
宮地財産区	4万円	2万円	2万円

企業会計 市が経営する企業の会計です。

会計名	歳入額	歳出額	差引額
水道事業	収益的収入額(税抜)	収益的支出額(税抜)	収益的収支(税抜)
	4億6,255万円	4億2,483万円	3,772万円
	資本的収入額(税込)	資本的支出額(税込)	資本的収支(税込)
2億223万円	3億8,020万円	▲1億7,797万円	
病院事業	収益的収入額(税抜)	収益的支出額(税抜)	収益的収支(税抜)
	23億7,656万円	27億5,608万円	▲3億7,951万円
	資本的収入額(税込)	資本的支出額(税込)	資本的収支(税込)
1億5,163万円	3億980万円	▲1億5,817万円	

* 企業会計は税務署に申告して消費税を納税するため、消費税は収益として計上しません。

財政の健全化判断比率などをお知らせします

健全化判断比率とは

地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を4つの指標で判断するものです。

資金不足比率とは

公立病院や下水道などの公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

●健全化判断比率

指標名	阿蘇市	黄信号	赤信号
		早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	-	13.31%以上	20.0%以上
②連結実質赤字比率	-	18.31%以上	30.0%以上
③実質公債費比率	8.9%	25.0%以上	35.0%以上
④将来負担比率	54.2%	350.0%以上	-

* ①、②は赤字額がないため「-」で表示しています。

* 健全化判断比率、資金不足比率は健全化法に基づく数式により算出しています。

「令和5年度阿蘇市財政の健全化判断比率及び資金不足比率」は監査委員の審査に付され、**その算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されており、是正改善を要する事項についても、特に指摘すべきものはない**との意見が出されています。

●資金不足比率

会計名	阿蘇市	黄信号
		経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0%以上
病院事業会計	-	
下水道事業特別会計	-	

* 資金不足が生じていない会計は「-」で表示しています。

一般会計

令和5年度に実施した主な事業

民生費

- 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付事業
- 乙姫保育園大規模改修事業
- 児童福祉事業
- 障害者福祉事業
- 高齢者福祉事業



大規模改修後の乙姫保育園

総務費

- お知らせ端末更新事業
- 地方バス運行等特別対策事業
- 光ネットワーク事業
- 市役所本庁舎等LED照明設置事業



更新が進むお知らせ端末

教育費

- 阿蘇小学校屋内運動場等解体・改築事業
- 移動図書館車購入事業
- ICTを活用した学力の推進事業
- 生涯学習・文化振興事業
- 生涯スポーツ推進事業

購入した移動図書館車



衛生費

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
- 阿蘇保健福祉センター大規模改修事業
- 予防接種・各種健診事業
- ごみ収集事業

農林水産業費

- 農村環境改善センター改修事業
- 大野川上流地区農業用排水施設整備事業
- 地籍調査事業
- 農業担い手の育成・支援事業
- 有害鳥獣対策事業

商工費

- 地域振興緊急対策事業(コロナ臨時交付金)
- 阿蘇山火口二次避難施設等整備事業
- 草原情報館施設等改修事業
- ふるさと納税制度の利用拡大・推進事業



令和5年度のふるさと納税の受入額は過去最高の2.7億円を記録

土木費

- 橋梁維持事業
- 河川改修・掘削等維持事業
- 道路維持・新設改良事業

消防費

- 小型動力ポンプ・消防積載車・消火栓整備事業
- 災害対策本部ICT化事業

災害復旧費

- 農地等災害復旧事業
- 河川等災害復旧事業